

全国を対象とした観光需要喚起策

国の支援事業として、支援水準は、以下のとおり全国一律とする。

<割引率>
4.0% **4.0%割引**

<割引上限額> 交通機関使った上限8000円

交通機関利用商品：8,000円(二泊当たり)

(鉄道、バス、タクシー・ハイヤー、船、フェリー等)

上記以外：5,000円 交通機関使わないと
上限5000円

<クーポン額>

平日：3,000円

休日：1,000円

「旅行支援」全国に拡大！ 10/11から「全国旅行支援」実施

「全国旅行支援」が、ようやくスタートします。10/11～12月末ま

で対象で、1泊あたり「40%割引」で、交通機関を使った場合は1泊あたり「上限8000円」まで割引。交通機関を使わない場合は「上限5000円」まで

割引されます。

さらに「GOTO」と同様に飲食やお土産に使えるクーポンが平日3000円、休日1000円つきます。

また、日帰り旅行でも割引の適用があり、ホテル・旅館など宿泊機関での飲食は対象となりますが、県内の飲食店から強い要望のあった宿泊施設以外の日帰りツアーは、交通機関の利用が条件となっています。

引き続き、飲食店へも同等の支援を求めています。



山形の声々々要望！ リモートも使い直接国へ

□消費税のインボイス、電子帳簿保存の義務化の延期を要望

地元を回ると、消費税のインボイスの発行や電子帳簿保存義務について不安の声を毎日1回以上伺います。9/13インボイス導入・電帳法の義務化の延期を財務省・国税庁に要望しました。



来年2023年10月から「インボイス制度」が実施予定。業者間取引で「消費税課税事業者」からインボイスを求められたら、発行しなければなりません。

このインボイスを発行するには、消費税の課税業者も非課税業者も簡易課税事業者も、税務署にあらかじめ登録する必要があります。

インボイスを発行しないと、これま

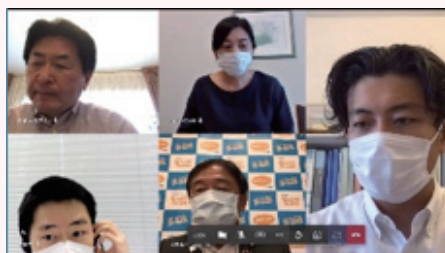
で取引していた業者から「取引お断り」とならないか、商売している多くの方が不安をおぼえるのは当然です。

□海外から来日する「インバウンド」の支援拡大を！

9/20東北地方で海外からの「インバウンド観光」に取り組む酒田の『みちのくインバウンド推進協議会』の皆さんと観光庁を結んでリモート会議。

この協議会の皆さんは10月にタイから行政・業界の要人の方々数十人を庄内に招くプロモーションを実施します。

リモート会議を通じて、観光庁にイ



ンバウンド観光の支援の拡大を要望しました。この時要望した「来日客上限5

万人撤廃」「ビザなし渡航を可能に」はいずれも早速、実現しました。

□飼料価格高騰「自家配」の畜産農家にも支援を！

農水省は、飼料業者の「配合飼料」の値上がりには「基金」から補助を出しますが、「基金」に加入していない、自家配合飼料を使う畜産農家には全く支援をしていません。



「自家配合飼料」を使う鶴岡市の『五十嵐ファーム』の五十嵐さんに9/14参議院会館まで来て頂き、農水省のご担当の方に「自家配合の畜産農家にも、飼料価格高騰対策の補助を」という思いを直接伝えてもらいました。国会審議でも引き続き取り組んで参ります。

日本海イカ釣り漁 わずかに前進「ロシア海域にて操業」へ

日本海のイカ釣り漁、ロシアのウクライナ侵攻による経済制裁の影響で、船のGPS装置のテスト手数料が送金出来ず、ロシア海域には入れずにいました。ようやく日本側の団体とロシア側で「送金」の合意が出来、一歩前進。しかし、今度は

「ロシア側の取り締まり船を借りる料金」が値上がりして困り交渉中です。

いかつり漁業協会では「可能な範囲」でロシア海域でイカ釣りを進める見込みだと言うことです。

ロシア海域に万一入れない場合

支援することは芳賀の質問に5月の決算委員会で金子農水大臣が約束しています。

また、イカ釣り漁に限らず燃油価格高騰対策の取組については「検討中」とのことで10月以降明らかになる見込みです。

リモート会議などで皆さんの声を次々直接要望！

□最低賃金引上げに合わせて昇給を進める中小企業に補助はないか？



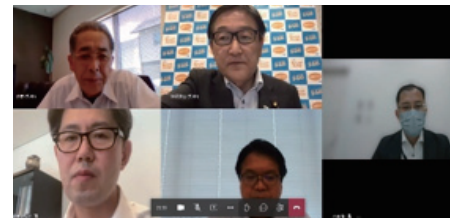
県内のコンビニオーナーや中小企業経営者から「給料を上げたらやっていけない。時給・給与を上げた場合の国の支援を知りたい」とお尋ねがありました。そこで8/26携帯電話を使ってリモート会議を実施。

厚労省の支援策を聞きました。「業務改善助成金」では、賃上げ額と人数に応じて6万円～600万円補助。作業効率が上がるのならば性能の良い除雪機・掃除機などの購入費用にもあてられるという助成金などがあります。

□事故車を修理した時に保険会社から払われる修理費用の単価が20年間変わっていない！

地元山形県の車体整備協同組合の方々から伺った問題について、8/31協同組合の役員の方々と国交省・金融庁とでリモート会議を実施。自動車産業に通じている同じ会派の浜口誠議員も参加。

最低賃金が1.3倍になる中、この20年間保険会社側が単価引き上げに応じない問題が指摘されました。引き続き国会審議を通じて取り組み整備士の待遇改善に繋げていきます。



□部活の「地域移行」は3年間で実現するのか？



9/16文科省と山形県教職員組合をつないでリモート会議を実施。文科省は、中学校の先生たちの負担を減らすためにクラブ活動指導の負担を地域に移行することを考えています。しかし、現場の先生方は「移行」が進

むことは歓迎しているものの、順調に移行できるか心配しています。教職員組合の遠藤委員長にご対応を頂き、アンケートをもとに現場の問題意識を文科省に直接伝えてもらいました。

□生後間もない犬猫に「マイクロチップ」を注射

9/21山形市内でペットショップ「ペット・ハーバー・ノア」を運営する柏倉さんと環境省をつないでリモート会議を実施。

業者は生まれたばかりの犬猫に「マイクロチップ」を装着する義務がありますが、犬猫が小さいと、チップ

を埋め込むことで神経に触り歩けなくなるトラブルがあります。装着する・しないの判断が獣医師に任されていますが、犬猫の種類や大きさに合わせてその時期を示すよう要望し、本当にペットが幸せになる制度なのかの検証も求めました。



山形県
参議院議員
芳賀道也

【国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 917 号
電話 03-6550-0917
FAX 03-6551-0917

【山形事務所】
〒990-0825
山形市城北町 1-24-15
ダイヤ66城北2・A
電話 023-676-5115
FAX 023-676-5116

【庄内事務所】
〒998-0011
酒田市上安町 2-20-34
電話 090-8252-7140

